

第三回 マルチハザード都市防災セミナー

「防災 DX の実現を目指す東京理科大学発スタートアップ preArch」

- ・ 日時：2024 年 1 月 11 日(木) 16：00～17：30
- ・ 場所：<https://tus-ac-jp.zoom.us/j/95352668558?pwd=NkxOeTdWU3NjUUFjb3c1UXdmZVRzUT09>
ミーティング ID: 953 5266 8558
パスコード: 135642

・ 講演者：

- 1) 山本 貴博（東京理科大学総合研究院マルチハザード都市防災研究拠点 副拠点長）

タイトル：地震による建物損傷診断システムの開発と現状

概要：本学では、物理、応用物理、電気、機械、建築、情報などを専門とする研究者が連携し、地震による建物の損傷診断を行うシステムの開発を行なっている。具体的には、建物内の筋交や方杖に、独自で開発したセンサーを設置し、地震発生時の筋交や方杖の変形具合を検出してサーバーに送信し、建物の損傷度を瞬時に利用者に知らせるシステムである。本システムを社会実装するため、2022 年 4 月に東京理科大学発スタートアップ preArch を設立し、現在は国内有数の温泉観光地である大分県別府市を中心に事業を展開している。本セミナーでは、preArch の活動について講演する。

- 2) 尾北高博（BosaiTUBE 株式会社、代表取締役）

タイトル：カードサイズ型通信端末を用いた避難誘導システムの実証実験

概要：防災時の IoT 活用の一助になることを目指し中小企業のチャレンジとして、災害時の情報伝達として利活用できるカードサイズ型通信端末(85x54x3mm 18g)を開発した BosaiTUBE 株式会社の取り組みを事例紹介する。この避難誘導システムは、地震発生時などに避難を促す情報をカードの表示画面(電子ペーパー)を介して伝達し、適格な避難行動に役立ててもらうとともに、クラウドを通じて避難動線上における避難者の動態把握ができるように設計しており、株式会社 preArch と日本ゼオン株式会社の監修の下、令和 4 年 11 月に別府市にて実証実験した模擬避難訓練の様態を講演する。

- ・ 参加費：無料
- ・ 申し込み方法：以下の申込フォームに申込をお願いします（締切：1/10）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSedSp9kAh-0XW4DzTxSTsqanSgJuhvPvinAyDtXUhwdeXjTqQ/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>

- ・ お問い合わせ：東京理科大学総合研究院マルチハザード都市防災研究拠点 山本貴博
E-mail: takahiro@rs.tus.ac.jp